

第3 野生蜂除去指導事業

スズメバチ等による刺傷事故のない安全な街づくりを目指し、市民からスズメバチ及びミツバチの営巣や分蜂の情報を受け巢の除去等を行っている。

近年、蜂の巣の除去件数は増加傾向にあり、平成30年度423件、令和元年度640件、令和2年度700件、令和3年度は731件と増加している。蜂の発生数は、気温や降雨量など気候が深く関係していると考えられ、件数を予測することは困難であるが、大量発生したとしても対応できるように体制を整えている。

また、除去業務だけに止まらず、ミツバチについては農業生産にとって非常に重要な働きをしていることを啓発するため、平成23年からイベント（ハニーハント）を企画し、ミツバチの働きの講演及び採蜜体験を行っている。令和3年度は4月24日と5月9日に実施し、2日間で44組の応募があり、抽選で14組35人が参加した。